

特 殊 報

長崎県病害虫防除所長

平成 22 年度病害虫発生予察特殊報第 2 号

1 病害虫名 トビイロシワアリ

2 学 名 *Tetramorium tsushimae*

3 発生作物 ばれいしょ

4 発生場所 諫早市飯盛町

5 発生確認の経過

- (1) 平成 22 年 10 月に諫早市飯盛町で、ばれいしょに大量のアリが行列をつくり生長点付近や葉柄基部、葉などを食害しているとの診断依頼があった。
- (2) 現地を調査したところ、ばれいしょの茎内部に大量のアリが坑道を形成し、食害する様子が確認でき、被害のひどいものは萎凋・枯死する株も発生していた(写真 1、2)。被害株の地際部には盛り土をした巣が見られ、地際部や地下茎、種いもにも食害痕があった(写真 3、4)。発生面積は、地上部の軽微な食害が発生しているほ場も含め 9 筆、約 2 ha であった。
- (3) 現地からアリを含む土壌を持ち帰り、ばれいしょ株を移植して室内に置いたところ、アリによる葉および葉柄基部などへの食害が確認された(写真 5)。
- (4) 東京大学農学部応用昆虫学研究室 寺山守氏に同定を依頼したところ、トビイロシワアリであることが確認された(写真 6)。
- (5) 本虫は、アブラナ科(キャベツ、ブロッコリー、ハクサイなど)、ナスの幼苗、芝などを加害することが知られている。

6 形態および生態等

(1) 形態

働きアリの体長は 2.5mm 前後、体色は褐色から黒褐色。触角は 12 節。頭盾前縁はゆるやかに湾曲し、中央はくぼまない。額隆起は短く、複眼を結ぶ線より後方では不明瞭である。前伸腹節刺は歯状で短い。腹柄節の柄部は太く短い。頭部の表面はほぼ平行に縦走するしわにおおわれ、胸部のしわもより不規則ではあるが縦走する。

(2) 生態

比較的乾燥した場所を好み、日当たりのよい裸地や草の根元、石の下などに営巣する。食性は雑食性で、昆虫、植物の甘露、種子、樹液などを食する。西日本で普通に見られるアリの一種で、九州以北の日本各地に分布する。

(3) 被害作物

キャベツ、ハクサイ、ブロッコリーなどアブラナ科植物、ナスの幼苗、アスターなど

7 防除対策

トビイロシワアリに登録のある農薬はない。

深耕による巣の破壊、ほ場周辺の除草などの物理的・耕種的防除に努める。

8 参考資料等

日本農業害虫大事典、九州農業研究(1987)第 49 号 p.133、平成 10 年度発生予察特殊報第 4 号(福岡県)、平成 19 年度発生予察特殊報第 5 号(千葉県)、平成 20 年度病害虫発生予察特殊報第 1 号(広島県)、平成 22 年度病害虫発生予察特殊報第 2 号(佐賀県)



写真1 株を食害する様子



写真2 萎凋・枯死した株



写真3 地際部および地下部の被害

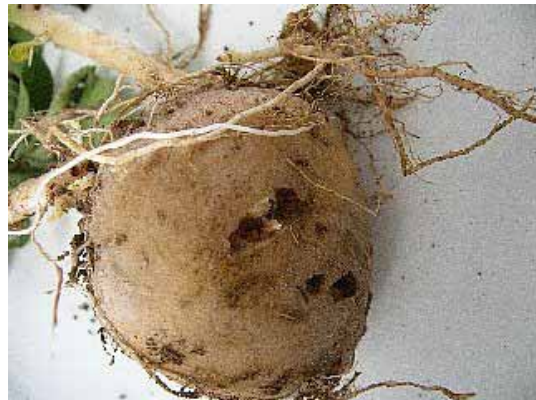


写真4 種いもの被害



写真5 (接種試験) 葉柄基部を食害する様子



写真6 トビロシワアリ

病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病虫害防除所 TEL：0957-26-0027